

## 市営住宅計画修繕に関する民間活力導入可能性調査業務委託提案書等作成要領

### 1 提出書類

提案書等は次に示す様式（様式ごとに指定された添付書類を含む。）により提出すること。

- (1) 技術提案書提出書（様式第 6 号）
- (2) 提案書表紙（様式第 7 号）
- (3) 提案書（4 作成上の留意事項を参照）
- (4) 業務実施体制書（様式第 8 の 1 号、8 の 2 号）
- (5) 参考見積書及び内訳書（様式自由、業務項目ごとの内訳を記載すること）
- (6) 工程表（様式は自由）

※ (2)から(6)までをセット（ページ番号付）にすること

※ (5)の参考見積書の見積金額は、消費税込み（10%）の額とし、実施要項 1 業務概要(6)に定める提案上限額に定める金額以内とする。なお、見積金額が提案上限額を超えた者は失格とする。

### 2 提案を求めるテーマ

以下のテーマに対する提案書（任意様式）を作成すること。

#### テーマ 1

##### 課題等の解決策に関する提案

市営住宅の計画修繕において、入札不調・不落が発生しており、また、施工体制の確保や工期・コストの制約等に関する課題が顕在化している状況を踏まえ、これらの課題に対して、民間の技術力及び創意工夫を活用し、工程管理、品質確保、コスト適正化の観点から有効な対応方針を具体的に提案すること。

#### テーマ 2

##### 事業スキームの概略に関する提案

テーマ 1 で整理した内容を踏まえて、民間活力導入による事業化に向けた最適な事業スキームについて検討すること。その際、PPP/PFI（DB 方式等を含む）など複数の事業手法を対象として、それぞれの特徴（メリット・デメリット）、適用条件、対象範囲、事業期間、概略工程等について整理した上で、市営住宅の計画修繕への適用可能性を、貴社の実績やノウハウ、他都市の事例等を踏まえて比較検討し、最も有効と考えられる事業手法を具体的に提案すること。

### 3 提案書等の提出部数

- (1) 正本 1 部：上記提出書類(1)~(6)
  - ア 正本は綴じずに提出すること
  - イ 添付書類を含め、参加者名が分かるもの
- (2) 副本 5 部：上記提出書類(2)~(6)
  - ア 一冊にまとめた状態で提出すること

イ 押印不要

ウ 添付書類を含め、正本から社名及び社名を類推できる表現・ロゴ等を外したもの

エ 業務実績についても社名が類推できない表現とすること（例えば社名を A 社とするなど）。

#### 4 作成上の留意事項

##### (1) 業務の実施体制について

管理者（1名）、主たる担当者、その他担当者について記載すること。なお、自社で対応できない場合は、現場責任者、主たる担当者以外は再委託先の協力業者のものを配置してもよい。

##### (2) 提案内容について

ア 提案内容は、**A3**用紙（横書き、片面）計 **1 ページ** で作成すること。指定するページ数を超えている場合は、超えたページ数の部分は評価しない。

イ 必要に応じて図、表等を用いてわかりやすく記載すること。

ウ 文字の大きさは 10.5 ポイント以上を標準とすること。（図表については、必要に応じて 10.5 ポイント未満も可。）

エ 指定以外の資料は添付しないこと。

オ 基本仕様書のコピーや「基本仕様書のとおり」といった記述に終始しないこと。

カ 提案内容は本プロポーザルの審査のみに使用するものである。